



## 第6章 調査間での共通質問

### 1 地域生活の状況

#### (1) 近所づきあい

##### ① 近所づきあいの状況

【市民，高齢者，障害者（18歳以上），障害者（18歳未満の保護者）】

あなたは、日ごろどのような近所づきあいをしていますか。（1つに○）

○ 市民と高齢者で「家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている」は1割程度に留まっている。また、障害のある方では、「あいさつをする」などのつきあいがある割合は、6割から9割となっている。

図表 6-1 近所づきあいの状況（全体）

【市民，高齢者，障害者（18歳以上），障害者（18歳未満）】

		(%)				
		あど家 い、を を親行 ししき てく来 い近す る所る づな き	つ立 きち あ話 いを をす しる て程 い度 るの	るのあ つい きさ あつ いを をす しる て程 い度	いな所 づき あ い を し て	無 回 答
市民	(N= 835)	10.4	31.5	42.7	15.4	0.0
高齢者	(N=1, 273)	15.4	38.7	34.6	9.7	1.6
障害者 (18歳 以上)	身体障害者（64歳以下） (n= 221)	3.6	15.8	53.0	24.0	3.6
	身体障害者（65歳以上） (n= 250)	9.2	32.0	36.4	18.8	3.6
	知的障害者 (n= 172)	0.6	7.6	49.3	35.5	7.0
	精神障害者 (n= 203)	1.5	11.3	42.9	39.9	4.4
難病患者 (n= 173)	8.1	23.7	47.4	17.3	3.5	
障害者（18歳未満の保護者）	(N= 115)	3.5	26.1	60.0	10.4	0.0

② 近所づきあいをしない理由

【市民、高齢者、障害者（18歳以上）、障害者（18歳未満の保護者）】

近所づきあいの状況で「4. 近所づきあいをしていない」と答えた方におたずねします。  
近所づきあいをしていない主な理由は何ですか。（いくつでも○）

○ 近所づきあいの状況について、「近所づきあいをしていない」と答えた人にその理由をたずねたところ、精神障害者では「あまりかかわりをもたたくないから（50.6%）」が最も多く、「普段つきあう機会がないから（48.1%）」が続いている。精神障害者以外では「普段つきあう機会がないから」が最も多くなっており、市民、障害者（18歳未満の保護）では「仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから」が続く、高齢者、身体障害者（64歳以下）、知的障害者では「あまりかかわりをもたたくないから」が続く、身体障害者（65歳以上）、難病患者では「その他」が続いている。

図表 6-2 近所づきあいをしない理由（全体：複数回答）

<「近所づきあいをしていない」と回答した人>

【市民、高齢者、障害者（18歳以上）、障害者（18歳未満）】

		(%)							
		間育仕 が な い か ら	引 つ か 越 し て き て 間 も	な 普 段 い か ら つ き あ う 機 会 が	い 同 世 代 の 人 が 近 く に	か う 気 が 合 う 人 に 話 の 合	ち あ ま り か か わ り を も	そ の 他	無 回 答
市民	(n= 129)	29.5	9.3	<b>78.3</b>	9.3	9.3	18.6	3.9	2.3
高齢者	(n= 123)	15.4	12.2	<b>43.1</b>	8.1	12.2	23.6	21.1	0.0
障害者 (18歳 以上)	身体障害者（64歳以下） (n= 53)	22.6	7.5	<b>60.4</b>	7.5	11.3	26.4	18.9	0.0
	身体障害者（65歳以上） (n= 47)	0.0	10.6	<b>36.2</b>	8.5	19.1	23.4	27.7	2.1
	知的障害者 (n= 61)	8.2	4.9	<b>45.9</b>	4.9	14.8	32.8	26.2	1.6
	精神障害者 (n= 81)	11.1	6.2	48.1	13.6	23.5	<b>50.6</b>	12.3	2.5
	難病患者 (n= 30)	20.0	10.0	<b>46.7</b>	6.7	13.3	26.7	33.3	0.0
障害者（18歳未満の保護者）	(n= 12)	50.0	8.3	<b>58.3</b>	8.3	25.0	25.0	16.7	0.0

(3) 今後の居住形態の意向【障害者（18歳以上）、障害者（18歳未満の保護者）】

【障害者（18歳以上）】あなたは今後、どのように生活したいと思いますか。（1つに○）  
 【障害者（18歳未満の保護者）】あなたは将来、お子さまがどのように生活することを望みますか。（1つに○）

○ 今後の居住形態の意向は、身体障害者（64歳以下）、身体障害者（65歳以上）、精神障害者、難病患者では「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する」が4～5割台で最も多く、「親や兄弟などの家族と一緒に生活する」が続いている。知的障害者は「親や兄弟などの家族と一緒に生活する（34.9%）」が3割台で最も多く、「グループホームで生活する（20.9%）」が続いている。障害者（18歳未満の保護者）では「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する（33.8%）」が3割台で最も多く、「グループホームで生活する（27.8%）」、「親や兄弟などの家族と一緒に生活する（20.9%）」が2割台が続いている。

図表 6-3 今後の居住形態の意向（全体）  
 【障害者（18歳以上）、障害者（18歳未満）】

		と親 一 緒 兄 弟 な ど の 家 族	に自 生分 活の す配 る偶 （※ ）一 緒は	活グ すル プ ホ ー ム で 生	入 所 施 設 で 生 活 す る	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答
障害者 (18歳 以上)	身体障害者（64歳以下）（n= 221）	24.4	<b>54.8</b>	1.8	2.7	2.7	10.4	3.2
	身体障害者（65歳以上）（n= 250）	20.8	<b>46.0</b>	1.6	9.6	6.8	13.2	2.0
	知的障害者（n= 172）	<b>34.9</b>	14.0	20.9	5.2	2.3	18.6	4.1
	精神障害者（n= 203）	20.2	<b>54.2</b>	3.9	2.5	4.9	11.8	2.5
	難病患者（n= 173）	22.5	<b>54.8</b>	0.6	6.4	3.5	8.7	3.5
障害者（18歳未満の保護者）（N= 115）		20.9	<b>33.8</b>	27.8	7.0	3.5	6.1	0.9

※障害者（18歳未満の保護者）は「一人暮らし、または本人の配偶者と一緒に生活する」

## 2 日ごろの悩みと相談

### (1) 普段の外出

#### ① 外出状況【市民，高齢者，障害者（18歳以上）】

あなたは普段どのくらい外出しますか。（1つに○）

- 外出状況について、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」を合計した割合は、市民では 1.5%，高齢者では 4.0%，身体障害者（64歳以下）では 5.9%，身体障害者（65歳以上）では 15.2%，知的障害者では 1.8%，精神障害者では 5.0%，難病患者では 12.2%となっている。
- また、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」を合計した割合は、市民では 11.4%，高齢者では 26.8%，身体障害者（64歳以下）では 25.8%，身体障害者（65歳以上）では 47.2%，知的障害者では 11.7%，精神障害者では 32.6%，難病患者では 27.8%となっている。

図表 6-4 外出状況（全体）

【市民，高齢者，障害者（18歳以上）】

		(%)								
		毎仕事 外や学 校で平 日は	4仕事 日や学 校で週 に3	遊ぶ 等で頻 繁に外 出	入づ きあ い外 出の ため に	用事 の趣 味に 関る が、 外出	普段 は家 に居 るが 、近 所は コン ビニ など には 出か ける	普段 は家 に居 るが 、自 室か らは 出な い	自室 から ほと んど 出	無回 答
市民	(N= 835)	<b>54.4</b>	11.3	7.9	10.1	5.0	4.9	1.1	0.4	4.9
高齢者	(N=1, 273)	16.1	13.2	16.0	<b>18.9</b>	11.2	11.6	2.9	1.1	9.0
障害者 (18歳 以上)	身体障害者（64歳以下）(n= 221)	<b>43.5</b>	14.5	2.7	7.2	8.6	11.3	4.1	1.8	6.3
	身体障害者（65歳以上）(n= 250)	7.6	6.4	7.2	12.8	10.8	<b>21.2</b>	10.4	4.8	18.8
	知的障害者 (n= 172)	<b>67.3</b>	8.1	4.1	1.2	6.4	3.5	0.6	1.2	7.6
	精神障害者 (n= 203)	<b>32.3</b>	15.8	2.0	9.4	9.9	17.7	3.0	2.0	7.9
	難病患者 (n= 173)	<b>36.9</b>	11.6	3.5	9.2	6.4	9.2	8.7	3.5	11.0

② 外出をしていない期間【市民，高齢者，障害者（18歳以上）】

外出状況で5～8と答えた方におたずねします。  
現在の状態となってどのくらい経ちますか。（1つに○）

○ 外出状況について、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と答えた人に、その状態になった期間をたずねたところ、5年以上の割合を合計すると、市民では42.2%、高齢者では42.8%、身体障害者（64歳以下）では45.7%、身体障害者（65歳以上）では47.4%、知的障害者では45.0%、精神障害者では59.1%、難病患者では43.8%となっている。

図表 6-5 外出をしていない期間（全体）

＜「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」、  
「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、  
「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と回答した人＞  
【市民，高齢者，障害者（18歳以上）】

		(%)						
		6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年～10年未満
市民 (n= 95)		8.4	6.3	<b>16.7</b>	11.6	11.6	10.5	7.4
高齢者 (n= 342)		6.1	6.1	12.3	10.5	<b>14.3</b>	8.5	8.8
障害者 (18歳以上)	身体障害者（64歳以下） (n= 57)	1.8	12.3	12.3	10.5	15.6	8.8	<b>15.8</b>
	身体障害者（65歳以上） (n= 118)	5.1	5.9	8.5	11.0	<b>15.3</b>	10.2	9.3
	知的障害者 (n= 20)	10.0	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0
	精神障害者 (n= 66)	6.1	4.5	3.0	9.1	10.6	7.6	<b>12.1</b>
	難病患者 (n= 48)	8.3	4.2	12.5	8.3	12.5	6.3	10.4
		10年～15年未満	15年～20年未満	20年～25年未満	25年～30年未満	30年以上	無回答	
市民 (n= 95)		5.3	7.4	6.3	2.1	3.2	3.2	
高齢者 (n= 342)		9.4	5.3	4.4	2.3	4.1	7.9	
障害者 (18歳以上)	身体障害者（64歳以下） (n= 57)	7.0	0.0	5.3	7.0	1.8	1.8	
	身体障害者（65歳以上） (n= 118)	13.6	4.2	2.5	0.8	6.8	6.8	
	知的障害者 (n= 20)	10.0	5.0	10.0	5.0	<b>15.0</b>	35.0	
	精神障害者 (n= 66)	7.6	<b>12.1</b>	6.1	4.5	9.1	7.6	
	難病患者 (n= 48)	<b>18.7</b>	2.1	0.0	0.0	6.3	10.4	

③ 外出をしなくなったきっかけ【市民，高齢者，障害者（18歳以上）】

外出状況で5~8と答えた方におたずねします。  
現在の状態になったきっかけは何ですか。（いくつでも○）

○ 外出状況について、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と答えた人に、その状態になったきっかけをたずねたところ、市民，高齢者では「病気」が2割台で最も多く、「退職したこと」が続いている。身体障害者（64歳以下），身体障害者（65歳以上），難病患者でも上位2位は変わらないが、「病気」が5割台後半から7割台となっている。精神障害者でも「病気（53.0%）」が最も多くなっているが、2位は「人間関係がうまくいかなかったこと（30.3%）」となっている。また、知的障害者では「人間関係がうまくいかなかったこと（25.0%）」と「分からない（25.0%）」が同率で最も多くなっている。

図表 6-6 外出をしなくなったきっかけ（全体：複数回答）

＜「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」，  
「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」，  
「自室からは出るが、家からは出ない」，「自室からほとんど出ない」と回答した人＞  
【市民，高齢者，障害者（18歳以上）】

		小学生時の不登校	中学生時の不登校	高校生時の不登校	大学生（短期大学を含む）等の不登校	受験に失敗したこと（高校・大学等）	就職活動がうまくいかなかったこと	職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかったこと	(%)
市民	(n= 95)	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	2.1	4.2	
高齢者	(n= 342)	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	1.8	
障害者 (18歳以上)	身体障害者（64歳以下）	(n= 57)	0.0	0.0	1.8	0.0	1.8	3.5	3.5	
	身体障害者（65歳以上）	(n= 118)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	知的障害者	(n= 20)	5.0	15.0	0.0	0.0	0.0	20.0	25.0	
	精神障害者	(n= 66)	3.0	6.1	9.1	3.0	3.0	7.6	13.6	
	難病患者	(n= 48)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	

  

		病気	妊娠したこと	退職したこと	介護・看護を担うことになったこと	特にない	分からない	その他	無回答
市民	(n= 95)	25.3	2.1	24.2	7.4	20.0	4.2	12.6	7.4
高齢者	(n= 342)	27.2	0.0	19.0	7.9	17.0	2.3	13.5	17.3
障害者 (18歳以上)	身体障害者（64歳以下）	(n= 57)	66.7	1.8	19.3	5.3	3.5	5.3	3.5
	身体障害者（65歳以上）	(n= 118)	58.5	0.8	5.9	5.9	3.4	5.1	12.7
	知的障害者	(n= 20)	10.0	0.0	10.0	0.0	5.0	25.0	10.0
	精神障害者	(n= 66)	53.0	1.5	15.2	6.1	1.5	4.5	18.2
	難病患者	(n= 48)	72.9	2.1	8.3	0.0	0.0	4.2	4.2

④ 相談の意向【市民，高齢者，障害者（18歳以上）】

外出状況で5～8と答えた方におたずねします。

現在の状態について，関係機関に相談したいと思いますか。（1つに○）

- 外出状況について，「普段は家にいるが，自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」，「普段は家にいるが，近所のコンビニなどには出かける」，「自室からは出るが，家からは出ない」，「自室からほとんど出ない」と答えた人に，現在の状態に関する関係機関への相談意向をたずねたところ，「非常に思う」と「思う」を合計した《思う》の割合は，市民では5.3%，高齢者では13.4%，身体障害者（64歳以下）では15.8%，身体障害者（65歳以上）では20.4%，知的障害者では20.0%，精神障害者では30.4%，難病患者では14.6%となっている。

図表 6-7 相談の意向（全体）

＜「普段は家にいるが，自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」，

「普段は家にいるが，近所のコンビニなどには出かける」，

「自室からは出るが，家からは出ない」，「自室からほとんど出ない」と回答した人＞

【市民，高齢者，障害者（18歳以上）】

		(%)				
		非常に 思う	思 う	少 し 思 う	思 わ な い	無 回 答
市民	(n= 95)	1.1	4.2	20.0	70.5	4.2
高齢者	(n= 342)	3.2	10.2	20.5	54.4	11.7
障害者 (18歳 以上)	身体障害者（64歳以下） (n= 57)	3.5	12.3	31.6	50.8	1.8
	身体障害者（65歳以上） (n= 118)	5.1	15.3	24.6	47.4	7.6
	知的障害者 (n= 20)	15.0	5.0	30.0	30.0	20.0
	精神障害者 (n= 66)	15.2	15.2	28.8	33.2	7.6
	難病患者 (n= 48)	4.2	10.4	18.8	52.0	14.6

(2) 困ったときの身近な相談相手【市民，高齢者】

あなたが、日常生活の中で困ったとき、主に相談できる人・機関は次のうちどれですか。  
(いくつでも○)

- 困ったときの身近な相談相手は、市民，高齢者ともに、「同居の家族」が最も多く、「別居の家族や親戚」，「友人・知人」，「かかりつけ医や保健師など医療関係者」，「市役所」が続いている。

図表 6-8 困ったときの身近な相談相手（全体：複数回答）  
【市民，高齢者】

		(%)								
		同居の家族	別居の家族や親戚	自治会や近所の人	友人・知人	民生委員・児童委員	地域福祉コーディネーター	ケアマネジャー・ヘルパーなどの事業者	かかりつけ医や保健師など医療関係者	市役所
市民	(N= 835)	65.9	55.7	3.8	45.4	0.1	0.5	4.7	7.8	7.3
高齢者	(N=1,273)	61.2	53.7	7.9	29.8	2.7	2.6	9.3	19.9	12.6

  

		社会福祉協議会	地域包括支援センター	ちようふ若者サポートステーション	子ども家庭支援センター	調布ライフサポート	その他	身近に相談できない人・機関はない	無回答
市民	(N= 835)	1.4	3.4	0.1	1.1	0.2	2.6	3.1	2.6
高齢者	(N=1,273)	4.3	9.6	—	—	0.3	1.9	2.2	1.5

(3) 手助けしてほしいこと、できること

① 手助けしてほしいこと【市民、高齢者、障害者（18歳未満の保護者）】

あなたは家族以外のまわりの人から次のような手助けをしてほしいと思いますか。

○ 手助けしてほしいことについて、「してほしい・してほしいと思ったことがある」の割合は、市民、高齢者では『災害時避難の手助け』が最も多く、『具合がよくな  
いときに、病院等に連絡する』、『安否確認の声かけ』が続き、ここまでは割合が3  
割を超えている。障害者（18歳未満の保護者）では、『災害時避難の手助け  
(73.1%)』が最も多く、『子どもの預かり(69.6%)』、『安否確認の声かけ  
(56.5%)』、『話し相手や相談相手(56.5%)』、『通院の送迎や外出の手助け  
(51.3%)』が続き、ここまでは割合が5割を超えている。

図表 6-9 手助けしてほしいこと（全体）

（手助けを「してほしい・してほしいと思ったことがある」の割合）

【市民、高齢者、障害者（18歳未満）】

		安 否 確 認 の 声 か け	や ち よ み つ と し し た 買 い 物	手 食 事 や 掃 除 ・ 洗 濯 の	手 通 院 の 送 迎 や 外 出 の	子 ど も の 預 か り	話 し 相 手 や 相 談 相 手	災 害 時 避 難 の 手 助 け	る に 具 合 が よ く な い と き に 病 院 等 に 連 絡 す ぎ
市民 (N= 835)		39.6	16.5	13.5	18.2	19.3	24.0	<b>52.6</b>	39.9
高齢者 (N=1, 273)		32.1	14.0	11.9	15.5	3.9	19.2	<b>39.7</b>	33.1
障害者 (18歳未満の保護者) (N= 115)		56.5	22.6	26.1	51.3	69.6	56.5	<b>73.1</b>	46.9

## ② 手助けできること

## 【市民、高齢者、障害者（18歳以上）、障害者（18歳未満の保護者）】

次のような手助けを家族以外のまわりの人にできますか。

- 手助けできることについて、「手助けできる」の割合は、知的障害者では『ちょっとした買い物やごみ出し（41.9%）』が最も多く、知的障害者以外では、『安否確認の声かけ』が最も多くなっている。
- なお、「手助けできる」割合が5割を超えるのは、全8項目のうち、市民では3項目、高齢者では1項目、身体障害者（64歳以下）では4項目、身体障害者（65歳以上）では0項目、知的障害者では0項目、精神障害者では3項目、難病患者では4項目、障害者（18歳未満の保護者）では5項目となっている。また、「手助けできる」割合が3割を超えるのは、全8項目のうち、市民では5項目、高齢者では5項目、身体障害者（64歳以下）では7項目、身体障害者（65歳以上）では4項目、知的障害者では2項目、精神障害者では7項目、難病患者では7項目、障害者（18歳未満の保護者）では6項目となっている。

図表 6-10 手助けできること（全体）

（「手助けできる」の割合）

【市民、高齢者、障害者（18歳以上）、障害者（18歳未満）】

		安否確認の声かけ	ちょっとした買い物	食事や掃除・洗濯の手伝い	通院の送迎や外出の手助け	子どもの預かり	話し相手や相談相手	災害時避難の手助け	器具、合病院等に連絡とす
市民	(N= 835)	<b>70.6</b>	49.1	25.3	26.5	24.3	49.8	60.0	62.4
高齢者	(N=1, 273)	<b>53.0</b>	39.1	19.2	20.4	12.6	38.9	39.3	47.6
障害者 (18歳以上)	身体障害者（64歳以下） (n= 221)	<b>61.5</b>	54.8	43.9	33.0	23.5	61.1	38.0	58.9
	身体障害者（65歳以上） (n= 250)	<b>46.4</b>	31.6	21.6	17.2	11.6	40.0	20.0	41.6
	知的障害者 (n= 172)	29.1	<b>41.9</b>	36.6	16.3	9.9	26.2	18.6	18.6
	精神障害者 (n= 203)	<b>60.1</b>	58.1	45.9	37.4	18.7	43.8	41.4	56.7
難病患者 (n= 173)	<b>60.7</b>	50.8	39.3	32.4	23.7	50.9	39.9	52.6	
障害者（18歳未満の保護者）	(N= 115)	<b>83.5</b>	55.6	24.3	23.5	30.4	70.4	56.6	66.1

3 地域活動等の状況

(1) 地域活動・ボランティア活動

① 地域活動・ボランティア活動への興味・関心の有無【市民, 高齢者】

調布市では、様々な地域活動・ボランティア活動が行われています。  
 次のような地域活動・ボランティア活動について、あなたは興味・関心がありますか。

○ 地域活動・ボランティア活動への興味・関心の有無について、「興味がある」の割合は、市民では『防災訓練や災害時に救援・支援をする活動 (51.5%)』が最も多く、『地域の環境美化, 環境保全・自然保護などの活動 (44.1%)』が続いている。高齢者では、『地域の環境美化, 環境保全・自然保護などの活動 (37.9%)』が最も多く、『防災訓練や災害時に救援・支援をする活動 (35.5%)』が続いている。

図表 6-11 地域活動・ボランティア活動への興味・関心の有無 (全体)  
 (「興味がある」の割合)【市民, 高齢者】

										(%)
	P 援子 T す育 A るて の活世 動帯・ 子青 ども少 年会を や支	高 齢 者 を 支 援 す る 活 動	活 障 害 の あ る 人 を 支 援 す る	活 域 の 伝 統 や 文 化 を 伝 え る 地	ク お 祭 り や 運 動 会 な ど の レ	地 交 通 の 安 全 や 犯 罪 防 止 な ど	援 防 災 支 援 を す る 活 動 に 救	全 地 域 の 自 然 環 境 美 化 な ど の 環 境 保	人 自 治 会 ・ 地 区 の 協 議 会 ・ 老	
市民 (N= 835)	27.2	39.9	35.9	35.3	39.6	<b>51.5</b>	44.1	22.8		
高齢者 (N=1, 273)	15.5	31.5	26.0	23.2	31.2	35.5	<b>37.9</b>	27.4		

② 地域活動・ボランティア活動への取組状況【市民，高齢者】

現在，次のような地域活動・ボランティア活動にあなたは取り組んでいますか。

- 地域活動・ボランティア活動への取組状況について、「取り組んでいる」の割合は，市民では『子育て世帯・青少年を支援する活動，子ども会やPTAの活動（10.1%）』のみ1割を超えている。高齢者では『自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動（13.4%）』のみ1割を超えている。

図表 6-12 地域活動・ボランティア活動への取組状況（全体）  
（「取り組んでいる」の割合）【市民，高齢者】

		P 援子 T 育 A する の活 動	高 齢 者 を 支 援 す る 活 動	活 動 の あ る 人 を 支 援 す る	活 域 の 伝 統 や 文 化 を 伝 え る	お 祭 り や 運 動 会 な ど の レ	地 交 通 の 安 全 や 犯 罪 防 止 な ど	援 防 災 支 援 を す る 活 動	全 地 域 の 自 然 環 境 保 護 な ど の 環 境 保	人 自 治 会 ク ラ ブ な ど の 協 議 会 ・ 老
市民 (N= 835)	10.1	4.8	3.4	8.7	4.3	5.5	4.9	9.2		
高齢者 (N=1, 273)	3.1	6.5	4.3	7.5	3.7	6.4	7.5	13.4		

③ 地域活動・ボランティア活動への取組意向【市民，高齢者】

あなたは，今後，地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいきたいと考えていますか。（1つに○）

- 地域活動・ボランティア活動への取組意向は，「積極的に，取り組んでいきたい」と「できるだけ，取り組んでいきたい」を合計した割合は，市民では8.8%，高齢者では10.7%であり，「機会があれば，取り組んでもよい」まで合計すると，市民では54.7%，高齢者では43.1%となっている。

図表 6-13 地域活動・ボランティア活動への取組意向（全体）【市民，高齢者】

		で積 い極 きた に、 取 り 組 ん	ん で 可 能 な に 取 り 組	組機 ん会 でも あ れ ば、 取 り	き取 り 組 み た い が、 で	な あ ま り 取 り 組 み た く	無 回 答
市民 (N= 835)	2.2	6.6	45.9	22.9	19.5	2.9	
高齢者 (N=1, 273)	1.6	9.1	32.4	25.5	20.7	10.7	

④ 地域活動・ボランティア活動に取り組まない理由【市民，高齢者】

地域活動・ボランティア活動への取組意向で4または5と答えた方におたずねします。  
 地域活動・ボランティア活動等に取り組まない理由は何ですか。(いくつでも○)

○ 地域活動・ボランティア活動について、「取り組みたいが、できない」、「あまり取り組みたくない」と答えた人に、取り組まない理由をたずねたところ、市民では「時間がないから (48.6%)」が最も多く、「その他 (24.9%)」、「興味がないから (19.8%)」が続いている。高齢者では「その他 (39.5%)」が最も多く、「人づきあいが面倒だから (19.6%)」、「時間がないから (19.3%)」が続いている。

図表 6-14 地域活動・ボランティア活動に取り組まない理由 (全体：複数回答)  
 <「取り組みたいが、できない」、「あまり取り組みたくない」と回答した人>  
 【市民，高齢者】

		(%)						
		興味のある活動がないから	活動に関する情報が	経済的負担が大きい	介護・育児で忙しい	メリットを感じない	時間がないから	
市民	(n= 354)	7.3	7.3	5.6	14.4	8.8	48.6	
高齢者	(n= 587)	7.5	5.5	4.3	5.6	2.2	19.3	

  

		きっかけがないから	人づきあいが面倒だ	興味がないから	地域にかかわりたくないから	その他	無回答
市民	(n= 354)	13.6	18.9	19.8	2.0	24.9	1.4
高齢者	(n= 587)	11.2	19.6	15.5	2.6	39.5	3.7

⑤ 地域活動・ボランティア活動へ参加しやすい条件【市民，高齢者】

どのような条件であれば，地域活動・ボランティア活動等に参加・活動しやすいと思いますか。(いくつでも○)

- 地域活動・ボランティア活動へ参加しやすい条件は，市民，高齢者ともに「時間や期間にあまりしぼられない」が最も多く，「身近なところに活動できる場があること」，「適切な指導者やリーダーがいること」が続いている。

図表 6-15 地域活動・ボランティア活動へ参加しやすい条件（全体：複数回答）  
【市民，高齢者】

		(%)					
		子ども の世話 や介護	活動 内容 や団 体に 関	友人 等と 一緒 に参 加	時間 や期 間 に あ ま り	身近 な と こ ろ に 活 動	適 切 な 指 導 者 や リ ー ダ ー が い る こ と
市民	(N= 835)	7.9	19.9	16.8	58.7	42.8	21.8
高齢者	(N=1, 273)	1.6	11.0	11.5	41.3	34.2	19.6
		活動 に 参 加 す る こ と ( 報 酬 等 )	活 動 資 金 の 補 助 や 援	そ の 他	分 か ら な い	条 件 に よ ら ず 、 参 加	無 回 答
市民	(N= 835)	15.3	11.0	4.2	10.4	6.3	6.0
高齢者	(N=1, 273)	4.7	5.1	3.8	15.6	9.3	18.0

(2) 市の福祉ボランティアの養成講座等

① 市の福祉ボランティアの養成講座等の認知度【市民，高齢者】

調布市では、次のような福祉ボランティアの養成講座を開催しています。  
あなたは、次のような養成講座をご存知でしたか。

- 市の福祉ボランティアの養成講座等の認知度について、「知っていた」の割合は、市民，高齢者ともに、すべて講座等で1割台となっている。

図表 6-16 市の福祉ボランティアの養成講座等の認知度（全体）  
（「知っていた」の割合）【市民，高齢者】

		(%)		
		のアカ ガをれ イはか ダじら ンめボ スタラ イン 人テ ヘイ	成認 講知 座症 サ ポ ー ター 養	成→見 講み守 座まり もサ りポ ー さん ター 養
市民	(N= 835)	14.9	15.0	13.2
高齢者	(N=1, 273)	16.2	16.9	15.8

② 市の福祉ボランティアの養成講座等の参加意向【市民，高齢者】

あなたは、今後次のような養成講座に参加したいと思いますか。

- 市の福祉ボランティアの養成講座等の参加意向について、「参加したいと思っている」の割合は、市民，高齢者ともに、すべて講座等で3～5%台となっている。

図表 6-17 市の福祉ボランティアの養成講座等の参加意向（全体）  
（「参加したいと思っている」の割合）【市民，高齢者】

		(%)		
		のアカ ガをれ イはか ダじら ンめボ スタラ イン 人テ ヘイ	成認 講知 座症 サ ポ ー ター 養	成→見 講み守 座まり もサ りポ ー さん ター 養
市民	(N= 835)	3.1	4.0	3.8
高齢者	(N=1, 273)	3.3	5.2	3.5

## (3) 身近な活動拠点

## ① 身近な活動拠点の利用状況【市民, 高齢者】

これまであなたが身近な活動拠点として利用している施設は、次のうちどこですか。  
(いくつでも○)

- 身近な活動拠点の利用状況は、市民、高齢者ともに「図書館」が最も多く、「文化会館たづくり」が続いている。それに続くのは、市民では「小学校・中学校（12.9%）」、「地域福祉センター（9.5%）」、高齢者では「地域福祉センター（13.7%）」、「民間の施設（6.3%）」となっている。
- なお、「特にない」の割合は、市民では39.0%、高齢者では37.5%となっている。

図表 6-18 身近な活動拠点の利用状況（全体：複数回答）  
【市民, 高齢者】

		(%)						
		文化会館 たづくり	地域福祉 センター	総合福祉 センター	市民活動 支援セン ター	ふれあいの 家	公民館	図書館
市民	(N= 835)	24.7	9.5	2.6	1.8	4.4	3.5	34.9
高齢者	(N=1, 273)	21.8	13.7	4.7	1.8	5.7	5.6	24.6

  

		小学校・ 中学校	民間の 施設	個人宅	その他	特にな い	無回 答
市民	(N= 835)	12.9	1.7	4.3	3.7	39.0	3.7
高齢者	(N=1, 273)	3.2	6.3	3.6	4.6	37.5	9.5

② 身近な活動拠点に求める機能【市民，高齢者】

あなたが身近な活動拠点に求める機能は、どのようなものですか。（3つまで○）

- 身近な活動拠点に求める機能は、市民，高齢者ともに「困ったことを何でも気軽に相談できる総合相談窓口」が最も多く、「好きなときに自由に勉強や休憩等に使えるフリースペース」が続いている。

図表 6-19 身近な活動拠点に求める機能（全体：複数回答）

【市民，高齢者】

		（％）					
		口に困ったことを何でも気軽に相談できる総合相談窓口	集会室等の部屋借りられる	スヤベースや休憩等に使えるフリースペース	りしいやいつでも誰かができている場所	発信、掲示板や地域の情報の集約	トなど、市民活動のサポート
市民	(N= 835)	38.6	14.3	32.5	9.8	13.9	10.9
高齢者	(N=1, 273)	36.1	12.4	21.4	10.4	12.5	5.5
		展示スペース等の市民活動の発表の場	その他	特にない	分からない	無回答	
市民	(N= 835)	3.0	2.3	16.2	13.5	3.6	
高齢者	(N=1, 273)	4.0	2.4	20.4	11.9	10.1	

## 4 災害時の対応

## (1) 災害時の避難の際、手助けを頼める人

## 【障害者（18歳以上）、障害者（18歳未満の保護者）】

【障害者（18歳以上）】地震や災害などが起きた場合に、避難を助けてくれるような人がいますか。（いくつでも○）

【障害者（18歳未満の保護者）】お子さまには、地震や災害などが起きた場合に、避難を助けてくれるような人がいますか。（いくつでも○）

- 災害時の避難の際、手助けを頼める人について、「避難を助けてくれるような人はいない」の割合は、精神障害者で3割弱となっており多く、身体障害者（64歳以下）、身体障害者（65歳以上）、難病患者で1割台、知的障害者、障害者（18歳未満の保護者）で1割未満となっている。

図表 6-20 災害時の避難の際、手助けを頼める人（全体：複数回答）

## 【障害者（18歳以上）、障害者（18歳未満）】

		(%)					
		家族	近所の友人・知人	自治会・地域の民生支援者	その他	避難を助けてくれない	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害者（64歳以下）（n= 221）	73.8	18.6	4.1	5.0	14.5	3.6
	身体障害者（65歳以上）（n= 250）	72.8	17.6	11.2	8.0	11.6	3.2
	知的障害者（n= 172）	84.9	9.9	5.8	8.1	6.4	3.5
	精神障害者（n= 203）	54.7	17.2	4.4	6.4	29.1	5.9
	難病患者（n= 173）	69.9	20.8	5.8	7.5	12.7	5.8
障害者（18歳未満の保護者）（N= 115）		89.6	22.6	0.9	6.1	7.8	0.0

(2) 防災訓練等

① 防災訓練等の参加経験【障害者（18歳以上）、障害者（18歳未満の保護者）】

調布市の防災訓練や地域で行っている避難訓練（防災教育の日を含む）に参加したことがありますか。（1つに○）

- 防災訓練等の参加経験について、「ある」の割合は、障害者（18歳未満の保護者）で4割台、身体障害者（65歳以上）で2割台、身体障害者（64歳以下）、知的障害者、精神障害者、難病患者で1割台となっている。

図表 6-21 防災訓練等の参加経験（全体）  
【障害者（18歳以上）、障害者（18歳未満）】

		(%)		
		あ る	な い	無 回 答
障害者 (18歳 以上)	身体障害者（64歳以下）（n= 221）	16.3	81.4	2.3
	身体障害者（65歳以上）（n= 250）	26.4	69.2	4.4
	知的障害者（n= 172）	15.7	78.5	5.8
	精神障害者（n= 203）	15.3	80.3	4.4
	難病患者（n= 173）	18.5	76.9	4.6
障害者（18歳未満の保護者）（N= 115）		48.7	50.4	0.9

② 防災訓練等に参加しない理由【障害者(18歳以上), 障害者(18歳未満の保護者)】

防災訓練等の参加経験で「2. ない」と答えた方におたずねします。  
 避難訓練(防災教育の日を含む)に参加しない理由は何ですか。(いくつでも○)

○ 防災訓練等の参加経験について、「ない」と答えた人に、参加しない理由をたずねたところ、障害者(18歳未満の保護者)では「参加する時間がないから」が最も多く、身体障害者(64歳以下), 身体障害者(65歳以上), 知的障害者, 精神障害者, 難病患者では、いずれも「いつどこで開催されないか」が最も多くなっている。

図表 6-22 防災訓練等に参加しない理由(全体:複数回答)  
 <防災訓練等の参加経験が「ない」と回答した人>  
 【障害者(18歳以上), 障害者(18歳未満)】

		(%)							
		かていつらいつどこかで開催されない	か参加する時間がない	る一緒に参加しないから	人サポートしないから	か家族が参加している	必要がないから	その他	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害者(64歳以下) (n= 180)	53.3	31.1	9.4	9.4	4.4	7.8	16.1	1.7
	身体障害者(65歳以上) (n= 173)	32.4	7.5	8.1	11.6	10.4	12.7	30.6	6.4
	知的障害者 (n= 135)	47.4	26.7	14.8	17.0	9.6	11.9	7.4	4.4
	精神障害者 (n= 163)	58.9	22.1	20.2	7.4	4.3	14.1	16.6	2.5
	難病患者 (n= 133)	56.4	23.3	9.8	8.3	4.5	13.5	15.0	3.0
障害者(18歳未満の保護者) (n= 58)		34.5	48.3	8.6	12.1	1.7	1.7	24.1	0.0

5 地域社会に対する考え方，福祉のまちづくり

(1) 地域で福祉サービスの利用に結びついておらず困っている人の有無

【市民，高齢者】

あなたを含め，地域において支援が必要であるにもかかわらず，福祉サービスの利用に結びついていない人を知っていますか。(1つに○)

- 地域で福祉サービスの利用に結びついておらず困っている人について、「知っている」の割合は，市民では3.0%，高齢者では3.8%となっている。

図表 6-23 地域で福祉サービスの利用に結びついておらず困っている人の有無（全体）

【市民，高齢者】

		(%)		
		知 つ て い る	知 ら な い	無 回 答
市民	(N= 835)	3.0	92.2	4.8
高齢者	(N=1, 273)	3.8	87.4	8.8

## (2) 障害を理由に差別を受けたり、偏見を感じることの有無

## 【障害者（18歳以上）、障害者（18歳未満の保護者）】

【障害者（18歳以上）】あなたは、障害を理由に差別を受けて嫌な思いをしたり、偏見を感じたりすることがありますか。1または2と答えた方は、具体的にお書きください。

（1つに○）

【障害者（18歳未満の保護者）】お子さまやあなたは、障害を理由に差別を受けて嫌な思いをしたり、偏見を感じたりすることがありますか。1または2と答えた方は、具体的にお書きください。（1つに○）

- 障害を理由に差別を受けたり、偏見を感じることの有無について、「よくある」と「ときどきある」を合計した《ある》の割合は、障害者（18歳未満の保護者）では41.7%、精神障害者では30.5%、身体障害者（64歳以下）では25.8%、知的障害者では23.9%、身体障害者（65歳以上）では5.6%、難病患者では4.6%となっている。

図表 6-24 障害を理由に差別を受けたり、偏見を感じることの有無（全体）

## 【障害者（18歳以上）、障害者（18歳未満）】

		(%)					
		よくある	ときどきある	あまりない	全くない	分からない	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害者（64歳以下） (n= 221)	4.5	21.3	<b>43.0</b>	18.1	8.6	4.5
	身体障害者（65歳以上） (n= 250)	1.2	4.4	32.8	<b>38.0</b>	12.4	11.2
	知的障害者 (n= 172)	7.0	16.9	<b>29.5</b>	10.5	22.7	13.4
	精神障害者 (n= 203)	10.3	20.2	<b>32.1</b>	10.8	22.2	4.4
	難病患者 (n= 173)	0.0	4.6	26.6	<b>40.5</b>	17.3	11.0
障害者（18歳未満の保護者） (N= 115)		7.8	33.9	<b>44.5</b>	4.3	7.8	1.7

6 調布市の保健福祉施策

(1) 介護者に必要な支援【市民, 高齢者】

介護者支援策として、あなたが必要だと思うことは次のどれですか。(いくつでも○)

- 介護者に必要な支援は、市民、高齢者ともに「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」が最も多く、それに続くのは、市民では「介護者が仕事を続けることができる支援制度、再就職支援施策 (48.5%)」、**「介護者に対する定期的な情報提供 (40.5%)」**、高齢者では「介護者に対する定期的な情報提供 (34.6%)」、**「電話や訪問による相談サービス (28.9%)」**となっている。

図表 6-25 介護者に必要な支援 (全体：複数回答)  
【市民, 高齢者】

		(%)							
		的介 な護 者 に 対 し て 定 期 的 に 提 供 す る 情 報	が介 と護 れ者 るが 機気 会軽 づに く休 り息	機 会 提 供 の 日 帰 り 旅 行 な ど の め	リ フ レ ッ シ ユ の た め の 機 会 提 供	電 話 サ ー ビ ス に よ る 相 談	ま つ て 話 せ る 場 づ 集 く	助 グ ル ー プ の 自 ら の 活 か し み	在 宅 介 護 者 へ の 手 当
市民	(N= 835)	40.5	<b>50.8</b>	15.1	30.9	28.1	12.7	38.3	
高齢者	(N=1,273)	34.6	<b>37.8</b>	13.8	28.9	21.5	7.5	22.9	
		る介 企護 業休 業 の 取 得 者 の 支 援 制 度	策制 度、 再 就 職 支 援 施 策	言 の 場 づ く り の 機 会 提 供	し た 介 護 者 の 経 験 を 活 か す 機 会 の 創 出	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
市民	(N= 835)	19.8	48.5	12.8	1.4	4.7	4.2		
高齢者	(N=1,273)	8.6	22.5	9.3	1.2	16.4	13.2		

(2) 制度や相談窓口の認知度

【市民，高齢者，障害者（18歳以上），障害者（18歳未満の保護者）】

【市民】市民の権利や生活を守るための制度や相談窓口等として以下のようなものがありますが、あなたが知っていたものはありますか。

【高齢者】高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口等として以下のようなものがありますが、あなたは知っていますか。

【障害者（18歳以上）】あなたは、次の調布市の相談窓口や制度を知っていますか。

【障害者（18歳未満の保護者）】次の調布市の相談窓口を知っていますか。

○ 制度や相談窓口の認知度について、「知っていた」・「知っている」の割合は、すべての調査で共通している『成年後見制度』では、市民，高齢者，障害者（18歳未満の保護者）で6割前後，難病患者で4割台，身体障害者（64歳以下），身体障害者（65歳以上），知的障害者，精神障害者で3割台となっている。また、『調布ライフサポート』では、市民，高齢者，身体障害者（64歳以下），精神障害者で1割台，身体障害者（65歳以上），知的障害者，難病患者，障害者（18歳未満の保護者）で1割未満となっている。

図表 6-26 制度や相談窓口の認知度（全体）（「知っていた」・「知っている」の割合）

【市民，高齢者，障害者（18歳以上），障害者（18歳未満）】

		(%)					
		成年後見制度	地域包括支援センター	調布ライフサポート	障害者虐待防止	こども支援事業（こ）	子ども家庭支援
市民 (N= 835)		60.6	55.3	13.2	16.3	15.4	46.5
高齢者 (N=1, 273)		59.0	53.6	12.7	—	—	—
障害者 (18歳以上)	身体障害者 (64歳以下) (n= 221)	37.1	36.7	12.2	10.0	—	—
	身体障害者 (65歳以上) (n= 250)	36.4	53.6	8.8	7.2	—	—
	知的障害者 (n= 172)	33.7	28.5	5.2	10.5	—	—
	精神障害者 (n= 203)	37.9	34.5	12.8	9.9	—	—
	難病患者 (n= 173)	42.8	49.8	4.6	4.0	—	—
障害者 (18歳未満の保護者) (N= 115)		61.7	—	6.1	16.5	31.3	94.8

  

		住まいぬくもり相談室	ドルチェ	ちようふだぞう	希望ヶ丘	こころの健康支援センター	難病相談窓口
市民 (N= 835)		7.9	—	—	—	—	—
高齢者 (N=1, 273)		9.1	—	—	—	—	—
障害者 (18歳以上)	身体障害者 (64歳以下) (n= 221)	4.5	28.1	31.2	10.4	15.8	15.8
	身体障害者 (65歳以上) (n= 250)	3.6	14.4	13.6	4.8	9.6	9.6
	知的障害者 (n= 172)	3.5	17.4	81.4	6.4	29.7	5.2
	精神障害者 (n= 203)	6.4	20.7	28.1	26.1	49.7	8.9
	難病患者 (n= 173)	2.3	9.2	9.2	1.7	7.5	39.9
障害者 (18歳未満の保護者) (N= 115)		—	39.1	60.0	12.2	35.7	12.2

(3) ヘルプカード

① ヘルプカードの所持状況【障害者（18歳以上）、障害者（18歳未満の保護者）】

【障害者（18歳以上）】あなたは、調布市が配布しているヘルプカードを持っていますか。  
（1つに○）

【障害者（18歳未満の保護者）】あなたは、お子さまに調布市が配布しているヘルプカードを持たせていますか。（1つに○）

- ヘルプカードの所持状況は、「持っていて、いつも持ち歩いている（持ち歩かせている）」の割合は、障害者（18歳未満の保護者）で3割台、知的障害者で2割程度、身体障害者（64歳以下）、身体障害者（65歳以上）、精神障害者で1割台、難病患者で1割未満となっている。
- また、「持っていて、いつも持ち歩いている（持ち歩かせている）」と「持っているが、持ち歩いていない（持ち歩かせていない）」を合計した《持っている》の割合は、障害者（18歳未満の保護者）では73.9%、知的障害者では54.0%、身体障害者（64歳以下）では44.8%、身体障害者（65歳以上）では43.6%、精神障害者では31.6%、難病患者では21.4%となっている。

図表 6-27 ヘルプカードの所持状況（全体）  
【障害者（18歳以上）、障害者（18歳未満）】

		(※1)	(※2)	ほ	必	(%)
		も持	ち持	持	持	無
		つ	つ	し	つ	回
		1	2	つ	つ	答
		ち	ち	い	い	
		て	て	て	て	
		い	い	い	い	
		い	い	い	い	
		る	る	が	し	
		つ	持	、	、	
障害者 (18歳 以上)	身体障害者（64歳以下） (n= 221)	19.5	25.3	19.5	27.6	8.1
	身体障害者（65歳以上） (n= 250)	16.8	26.8	24.0	24.4	8.0
	知的障害者 (n= 172)	20.3	33.7	16.3	22.1	7.6
	精神障害者 (n= 203)	15.3	16.3	21.7	38.8	7.9
	難病患者 (n= 173)	6.9	14.5	21.4	50.3	6.9
障害者（18歳未満の保護者） (N= 115)		32.2	41.7	15.7	10.4	0.0

※1：障害者（18歳未満の保護者）は「持っていて、いつも持ち歩かせている」

※2：障害者（18歳未満の保護者）は「持っているが、持ち歩かせていない」

## ② ヘルプカードの所持の効果【障害者（18歳以上）、障害者（18歳未満の保護者）】

【障害者（18歳以上）】ヘルプカードの所持状況で「1. 持っていて、いつも持ち歩いている」と答えた方におたずねします。ヘルプカードを持っていることで、周囲の人に配慮してもらったり、手助けをしてもらったりしたことがありますか。（1つに○）

【障害者（18歳未満の保護者）】ヘルプカードの所持状況で「1. 持っていて、いつも持ち歩かせている」と答えた方におたずねします。ヘルプカードを持っていることで、周囲の人に配慮や手助けをもらったことがありますか。（1つに○）

- ヘルプカードの所持状況について、「持っていて、いつも持ち歩いている」と答えた人に、ヘルプカードを持っていることで、周囲の人に配慮してもらったり、手助けをしてもらったりしたことがあるかたずねたところ、「ある」の割合は、難病患者では50.0%、精神障害者では48.4%、身体障害者（64歳以下）では27.9%、障害者（18歳未満の保護者）では27.0%、身体障害者（65歳以上）では19.0%となっている。知的障害者では「ある」が2.9%にとどまっているが、「分からない」が31.4%と他と比べて多くなっている。

図表 6-28 ヘルプカードの所持の効果（全体）  
 <「持っていて、いつも持ち歩いている」と回答した人>  
 【障害者（18歳以上）、障害者（18歳未満）】

		(%)			
		あ る	な い	分 か ら な い	無 回 答
障害者 (18歳 以上)	身体障害者（64歳以下）（n= 43）	27.9	51.2	11.6	9.3
	身体障害者（65歳以上）（n= 42）	19.0	57.2	16.7	7.1
	知的障害者（n= 35）	2.9	62.8	31.4	2.9
	精神障害者（n= 31）	48.4	48.4	3.2	0.0
	難病患者（n= 12）	50.0	41.7	0.0	8.3
障害者（18歳未満の保護者）（n= 37）		27.0	59.5	13.5	0.0

